

平成 28 年 5 月 17 日更新

データの修正

物質ID	物質名	CAS番号	項目	修正前								修正後								備考
				分類結果	絵表示	注意喚起語	危険有害性情報	注意書き	分類根拠・問題点	分類結果	絵表示	注意喚起語	危険有害性情報	注意書き	分類根拠・問題点					
H26-B-142 / R-088	クロム酸ストロンチウム	7789-06-2	生殖細胞突然変異原性	分類できない	健康有害性	警告	H341：遺伝性疾患のおそれの疑い	P308+P313：暴露又は暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。 P201：使用前に取扱説明書を入手すること。 P202：全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 P280：保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 P405：施設して保管すること。 P501：内容物／容器を...に廃棄すること。	データ不足のため分類できない。すなわち、in vivo のデータはない。In vitroでは、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の姉妹染色分体交換試験で陽性である (IARC 49 (1990))。本物質は水に難溶性Cr (VI) である。	分類できない	-	-	-	-	データ不足のため分類できない。すなわち、in vivo のデータはない。In vitroでは、細菌の復帰突然変異試験、哺乳類培養細胞の姉妹染色分体交換試験で陽性である (IARC 49 (1990))。本物質は水に難溶性Cr (VI) である。	H285.17修正				
- / R-097	2,4-トルエンジアミン	95-80-7	水生環境有害性 (長期間)	区分1	環境	-	H411：長期継続的影響によって水生生物に毒性	P273：環境への放出を避けること。 P391：漏出物を回収すること。 P501：内容物／容器を...に廃棄すること。	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく (BODIによる分解度:0% (既存点検, 1977))、甲殻類 (オオミジンコ) の21日間NOEC=0.52mg/L (環境省生態影響試験, 2001、環境省リスク評価第6巻, 2008、NITE 初期リスク評価書, 2008) であることから、区分2となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく (BODIによる分解度:0% (既存点検, 1977))、魚類 (マダイ) の96時間LC50=0.73mg/L (EU-RAR, 2008) であることから、区分1とした。 以上の結果を比較し、区分1とした。	区分1	環境	警告	H410：長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性	P273：環境への放出を避けること。 P391：漏出物を回収すること。 P501：内容物／容器を...に廃棄すること。	慢性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく (BODIによる分解度:0% (既存点検, 1977))、甲殻類 (オオミジンコ) の21日間NOEC=0.52mg/L (環境省生態影響試験, 2001、環境省リスク評価第6巻, 2008、NITE 初期リスク評価書, 2008) であることから、区分2となる。 慢性毒性データが得られていない栄養段階に対して急性毒性データを用いた場合、急速分解性がなく (BODIによる分解度:0% (既存点検, 1977))、魚類 (マダイ) の96時間LC50=0.73mg/L (EU-RAR, 2008) であることから、区分1となる。 以上の結果を比較し、区分1とした。	H285.17修正				